

よしおか

議会だより



群馬県吉岡町議会

No.121

2018.10.19



9月定例会

キラリ [★] ココに注目	平成29年度の主な事業結果	2
決算認定	町の家計簿徹底チェック!!	4
一般質問	4人が町政を問う	14
第1回臨時会	防災無線デジタル化第2段階へ	19

「チーム力で優勝をめざそう
～長縄跳び～(吉岡中体育大会)」
(説明23ページ)

吉岡町議会

検索



第3回 定例会

平成30年第3回定例会は、9月3日から14日まで、12日間の会期で行いました。定例会では、平成29年度決算に関する認定9件をはじめ、平成30年度補正予算など議案9件・報告1件・同意1件・諮問2件・委員会発議1件が提案され、すべて原案どおり可決しました。

主な事業結果★

べき事業をピックアップしてお伝えします。平成29年度一般会計決算について



文化財事務所新築移転工事（新規）

6190万円

老朽化した既存の事務所を移転し、隣接する南下古墳公園と併せて町の歴史・文化の情報発信拠点として新築。

財源は、企業版ふるさと納税3000万円、基金繰入金1700万円、一般財源1490万円。



地域福祉交流拠点施設設置事業（新規）

2811万円

空家を改修し、気軽に利用可能な認知症カフェや、ボランティアの育成の場として利用。

財源は、地方創生交付金1090万円、町債1090万円、一般財源631万円。



平成29年度の

平成29年度一般会計歳出総額は72億2164万円でした。ここでは、注目の詳細は、4・5ページをご覧ください。



花と緑のぐんまづくり in よしおか(新規) 1800万円

群馬県・吉岡町が主催となり、「ともに育てる花と緑のまち」をテーマに4月14日から30日間、役場周辺を中心に開催され、花と緑にあふれた会場に約7万人の来場があった。

財源は、一般財源1800万円。



役場西駐車場整備事業(新規) 1889万円

役場西駐車場を西側に2314㎡(普通自動車72台分)拡張し、来庁者の利便性の向上を図った。

財源は、一般財源1889万円。

事業名	決算額	内容
駒寄スマートIC大型車対応化事業(継続)	1億9544万円	前橋市、吉岡町およびネクスコ東日本が連携し、この事業を進めた。平成29年度は、用地取得・移設補償などを実施し、東側側道の一部付替え工事などを実施。 財源は、国庫支出金1億527万円、前橋市負担金6560万円、一般財源2457万円。
南下城山防災公園整備事業(継続)	1億3842万円	町民誰もが楽しめる大規模公園を桃井城址に整備する工事を進めた。平成29年度は、駐車場設置、園路工事、植栽工事、公園進入道路改良工事など実施。 財源は、国庫支出金8107万円、町債5570万円、一般財源165万円。
町道「明小・北発地岡線」道路改良事業(継続)	4205万円	平成28年度から明治小の通学路である本路線を拡幅すると共に、歩道を整備した。平成29年度は長さ137.9mの舗装工事などを実施し完成。 財源は、国庫支出金1272万円、一般財源2933万円。
橋梁の長寿化(継続)	3632万円	町が管理する橋の長寿化を図るため、定期点検、補修設計および補修工事を実施した。平成28年度繰越事業は、補修工事(6橋)が完成。平成29年度は、補修工事(2橋)を発注して翌年度に繰り越した。 財源は、国庫支出金1726万円、一般財源1906万円。
防災無線デジタル化事業(継続)	6755万円	渋川広域消防本部の無線放送施設のデジタル化が完了していることなども踏まえ、防災行政無線施設のデジタル化を実施する。平成29年度は親局・子局1局の設備工事を実施。 財源は、国庫支出金4933万円、町債1820万円、一般財源2万円。
文化センターエントランスホール東側自動ドア設置工事(新規)	1096万円	子どもから高齢者まで多世代が利用している吉岡町文化センターの、地域交流施設としての機能充実を図るため、東側に隣接する「ふれあい公園」の一体的な活用が可能となるよう、同エントランスホール東側に自動ドアを設置する工事を実施。 財源は、一般財源1096万円。
(仮称)林道葉籠・井堤線新設事業(新規)	562万円	県道前橋・伊香保線と上野原南部地区を接続する林道を開設するための測量設計の業務委託を実施。 財源は、県支出金280万円、一般財源282万円。
明治小学校職員室改修事業(新規)	367万円	明治小学校の児童数増加に伴い、教職員数も増加し、職員室の面積が不足していることから、拡幅改修工事を行うための設計を実施。 財源は、一般財源367万円。

町の家計簿徹底チェック

民生費・教育費減少するが
土木費前年対比11・2%の増

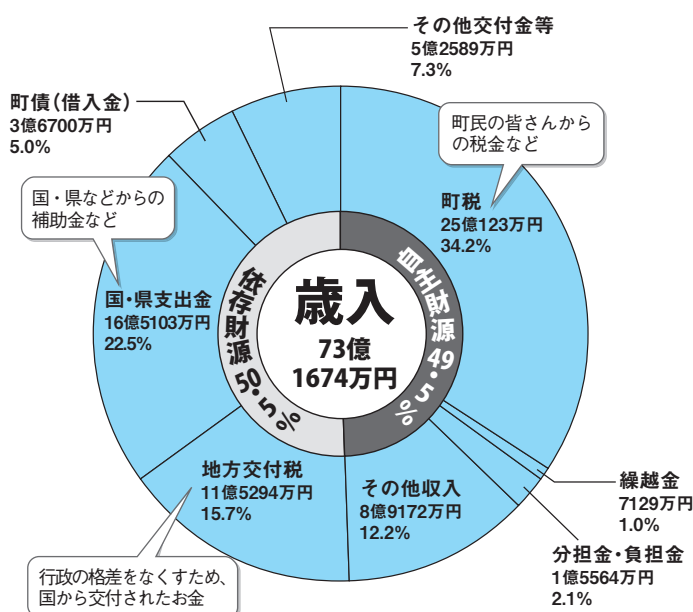
平成29年度歳入決算額は、73億1674万円
前年対比101%、
歳出決算額は72億2164万円
前年対比100・6%でした。

歳入

主な歳入のうち、町税は25億123万円で前年対比102%、地方交付税は11億5294万円
前年対比96・7%、国庫支出金は10億7670万円
前年対比84・7%でした。

減額は、学童クラブ施設新築事業・明治小学校校舎増築事業・駒寄幼稚園園舎建て替え事業の完了などが主な要因です。

町債（借入金）は3億6700万円で、前年対比87・6%でした。減額は、学校教育施設等整備事業債の減などによるものです。町債の主な用途は、南下城山防災公園事業、防災無線デジタル化事業、地域福祉交流拠点施設設置事業などでした。

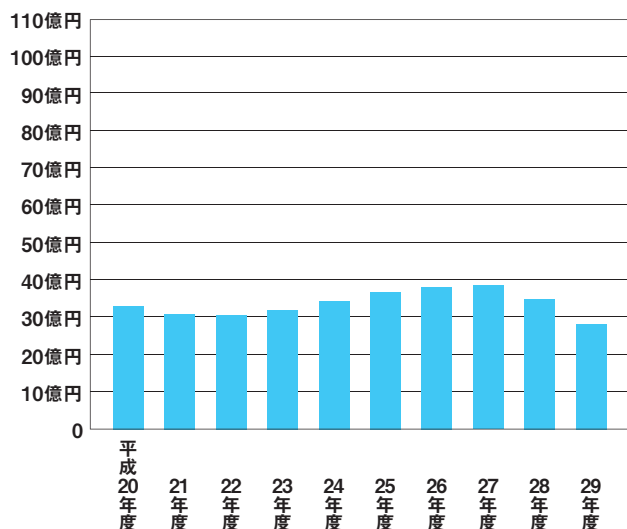


(写真説明：本年度完成に向けて工事が進む南下城山防災公園)

平成29年度一般会計決算 歳入・歳出

町の貯金の推移

基金残高



歳

出

主な歳出のうち、民生費は25億667万円で前年対比91・9%でした。これは、駒寄幼稚園舎建て替え事業や駒寄第3学童クラブ新築事業などの完了によるものです。

土木費は8億1640万円で、前年対比11・2%でした。これは、南下城山防災公

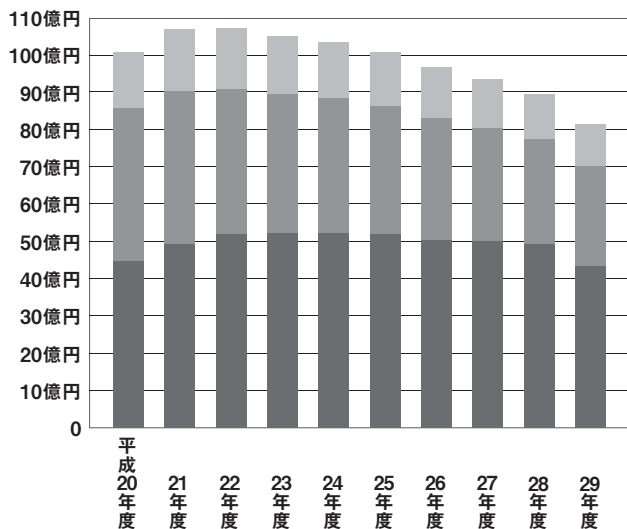
園事業などの増によるものです。

教育費は6億5227万円で、前年対比65・2%でした。これは、明治小学校校舎増築事業の完了などの減によるものです。

歳入歳出差引額は、9510万円で、歳入歳出差引額から、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支額は、2511万円でした。

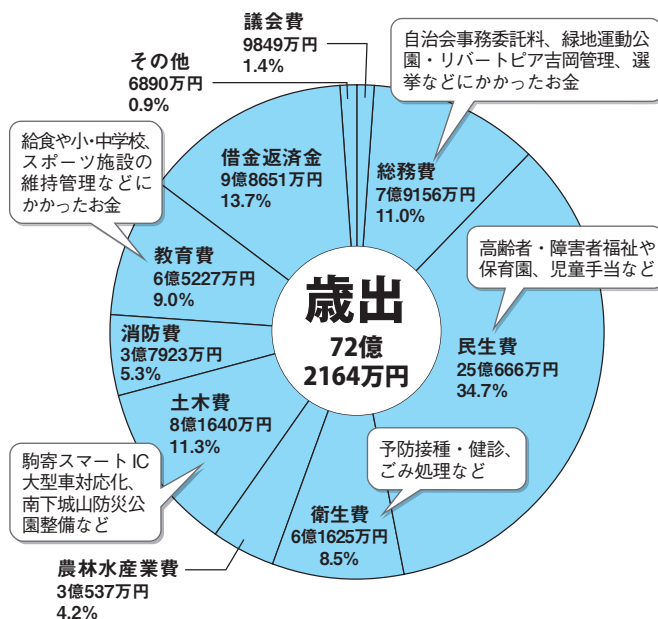
町の借入金の推移

一般会計町債残高
特別会計町債残高
水道事業会計町債残高



歳出

72億
2164万円



平成29年度 特別会計決算

町には、一般会計の他、7つの特別会計と1つの企業会計があります。特別会計は、特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して設置します。

各会計の決算額は以下のとおりです。

平成29年度 会計別決算額

(万円未満は四捨五入)

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	73億1674万円	72億2164万円
学校給食事業特別会計	1億1407万円	1億1374万円
公共下水道事業特別会計	3億8054万円	3億8024万円
国民健康保険事業特別会計	21億3190万円	20億9933万円
農業集落排水事業特別会計	1億6442万円	1億6432万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	354万円	354万円
介護保険事業特別会計	13億6902万円	13億3198万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億7937万円	1億7605万円

会 計 名	収 入	支 出
水道事業会計	収益的収支	4億2448万円
	資本的収支	9298万円
		3億9844万円
		2億4724万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

町の財政は「健全」

財政健全化判断比率および資金不足比率が報告されました。健全化判断比率のうち、いずれかが早期健全化基準以上になった場合は、財政健全化計画を策定し、財政の健全化を図ることとなります。

町の平成29年度決算においては、いずれの数値も早期健全化基準などを下回っています。

1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— % (15.0)	— % (20.0)	10.5% (25.0) 〔10.7%〕	— % (350.0)

備考 各比率の早期健全化基準は()内に記載
実質赤字額がない場合「—」を記載 前年度は〔 〕に記載

2 資金不足比率

公営企業会計の名称	資金不足比率
水道事業会計	— %
公共下水道事業特別会計	— %
農業集落排水事業特別会計	— %

備考 資金不足がない場合「—」を記載

早期健全化基準……………地方公共団体の財政の健全性に関する基準。

実質赤字比率……………一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の割合。

連結実質赤字比率……………全ての会計を合わせた赤字の割合。

実質公債費比率……………借入金の返済額とこれに準ずる経費の割合。

将来負担比率……………企業会計、出資法人も含めた将来の支出予定額の割合。

資金不足比率……………事業規模から見た各公営企業の資金不足の割合。

一般会計補正予算

吉中増築工事に大幅補正

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億8648万円を追加し、総額75億2674万円としました。

歳入の主な補正

(増額)	
地方特例交付金	1396万円
地方交付税	3029万円
国庫支出金	
保育所等整備交付金	620万円
南下城山防災公園事業補助金	222万円
繰入金	
財政調整基金	3948万円
渇水対策施設維持管理基金	977万円
教育文化振興基金	500万円
町債	
臨時財政対策債	750万円
駒小体育館用地取得事業	2160万円
吉中校舎増築関連移設事業	2980万円

歳出の主な補正

(増額)	
第三保育園新築助成事業	697万円
小倉揚水機場揚水ポンプ購入費	833万円
町道改良測量設計委託料	1620万円
バスターミナル概略検討業務	490万円
南下城山防災公園整備事業費	350万円
スクールバス購入事業費	771万円
駒小建物補償費	1000万円
中学校校舎増築関連移設工事	3985万円
緊急対策工事	982万円
(中学校ブロック塀の安全対策のため)	
八幡山グラウンド仮設広場整備工事	1200万円
給食センター施設補修計画検討業務委託料	300万円
(減額)	
町民プール解体工事	994万円

関連記事↓P.10

問 バスターミナル概略検討業務の内容は、駒寄スマートICの東側の商業地域に、高速バスなどの発着を誘致するための基礎資料の作成。

問 八幡山グラウンド仮設広場整備工事の利用目的と、その必要性は。

答 整備の目的は町有地の有効活用であるが、中学校ソフトボール部も練習可能な仮設広場とすることで、中学校校庭の部活動中の安全確保が図れると考えている。

平成30年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会 計 名			補 正 額	補正後の予算額
一般会計			1億8648万円	75億2674万円
特別会計	学校給食事業		13万円	1億2158万円
	公共下水道事業		1945万円	4億4809万円
	国民健康保険事業		2345万円	19億2492万円
	農業集落排水事業		▲72万円	1億5770万円
	介護保険事業		3711万円	14億8546万円
	後期高齢者医療事業		309万円	1億8784万円
企業会計	水道事業	収益的収支	▲47万円	4億291万円
		資本的収支	4万円	2億8131万円

私たちが慎重に チェック

委員会 審査

予算決算常任委員会が9月4・5・6日、総務常任委員会が11日、文教厚生常任委員会が12日、産業建設常任委員会が13日に行われ、付託された議案などについて審査しました。

予算決算常任委員会

ふるさと納税伸びず713万円

付託された平成29年度一般会計歳入歳出決算認定について審査しました。

歳入

法人町民税（現年度分）

問 前年対比で1089万円（7・4％）

の増の理由は。

答 法人数が平成28年度の420社から

18社増加したため。

ふるさと納税

問 当初予算に

対して大幅

減。返礼品の魅

力を上げていく

ことなど、増収

に向けた対応策

答 返礼品の納

入業者の募

集拡大を商工会



ふるさと納税は町の産業振興にもなる
(返礼品の一つのアップルパイ)

と協力して進める。

問 返礼品で一番人気

の米は、今後は吉

岡町産のみに制限され

る。返礼品用の米の確

保などの対応は。

答 新米をできるだけ

確保してもらうよう

う、JAをお願いする。

問 コンビニ収納

料が減った理由

は。

歳出

道の駅よしおか温泉・

リバートピア吉岡

問 対岸の前橋市側に

道の駅ができるが、

今後の対応は。

答 パークゴルフの全

国大会開催に向け

て対応中。前橋の道の

駅とは相乗効果を期待

したい。

問 事務事業棚卸調査業務

抽出された課題に

対する今後の取り

組みは。

答 各課・室の業務量

や、職員の年齢構

成のばらつきなどの課

題が出た。機構改革を

進める中で検討材料と

答 給与からの^{※1}特別

徴収により、納入

件数が減少したため。

していく。

職員研修

問 文書事務研修の内

容と参加人数は。

答 法制執務研修で48

人が参加。

問 平成29年度に県庁

で行われた「障害

平等研修」に町職員も

参加しているが、町で

の実施についての考え

は。

答 県庁の研修には室

長2人が参加。研

修の実施については検

討課題としていく。

吉岡町ホームページ

問 視覚障害対応とし

ての、「広報よしお

か」の読み上げ機能の改

善が進んでいないが。

答 現在業者と対応を

協議している。

地域福祉交流拠点施設

問 利用数が少なく

開いていない日が多

い。多額の税金で設

置された施設なので

より有効な活用を。

答 夏休み中に駒寄小

の5・6年生を対

象に、「子ども食堂」を

試験的に開催し好評だ

った。また、コミュニ

ティセンターで行って

いる学習支援を、当施

設で実施することも検

討している。

※2 放課後等デイサービス

問 支給者数が大幅増

となったが。

答 啓発や検査の普及

共働きの増などが

要因と考えられる。

保育園・幼稚園

問 延長保育が増加傾

向にあるが。

答 現在、第三・第四

保育園で実施。平

成28年度から急増して

いる。新たに第一保育

園での実施について話

を進めている。



各種企画・講習会などを積極的に行ってほしい（文化財事務所）

問 平成29年度から「^{※3}技能・経験に応じた保育士等の処遇改善」が始まっているが、保育園での実施状況は、

答 ^{※4}いくつかの保育園で検討を進めている。

問 成長アンケートの回収率が67・3%と少ない。回収率増へ、よ

答 アンケートの回収率が67・3%と少ない。回収率増へ、よ

り一層の取り組みが必要ではないか。

答 低調なのは事実だが、アンケートの提出方法を改善したので、今後は向上すると考えられる。

問 事業者のごみが、一般の集積所に大量に出されている。違法なのでしっかりとし

答 事業者のごみが、一般の集積所に大量に出されている。違法なのでしっかりとし

問 事業者のごみが、一般の集積所に大量に出されている。違法なのでしっかりとし

答 事業者のごみが、一般の集積所に大量に出されている。違法なのでしっかりとし

た対応を。

答 事業者への指導とホームページなどでの周知に努める。

問 公園の除草など管理費の削減対策は、

答 現在検討中。シルバー人材にできるだけ委託し、専門的なところを業者に委託するなど、コスト削減に努める。

問 防災公園の正式名称は、

答 本年10月の広報で愛称を募集する予定。

問 消防団員自動車運転免許取得費補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

問 当該年度の補助金の免許取得状況は、

答 3人が取得。本年4月時点では、102人のうち20人が未取得。

携帯メール配信システム（よしおかほっとメール）

問 登録者数が1664人とまだ少ないが、

答 いろいろな情報発信をしていくなかで登録増につなげていきたい。

問 防災無線の選定で、ポケベル波利用の防災ラジオとの比較検討はされなかったのか。

答 電波の通りがよい、受信機の価格が安いなど魅力があるが、補助金対象ではないこと、維持費や通信費の負担が大きいことから選考外とした。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

問 小学校の今後のクラス数増加予想は、

答 駒寄小で平成33年から36年の間で28クラスになる。教室数が不足するため特別教室を普通教室に用いてカバーする。

実験指導用品（中学校）

問 理科実験機器には補助金の対象になるものがある。貴重な税金からの支出を少しでも減らすべき。

答 検討していきたい。

問 文化財事務所新築移転完成した文化財事務所の学芸員の配置は、

答 専門指導員が学芸員資格を持つている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

問 企画展示やイベントなどについての考えは、

答 企画展示やイベントなどについて考えている。

夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

答 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

問 夏休みに「勾玉作り」などを行った。

ミニ解説

※1 特別徴収
住民税などを納税義務者に直接納付させるのではなく、事業者等に徴収・納入させる徴収方法。

※2 放課後等デイサービス
支援を必要とする障害のある子どもを、放課後や長期休暇中に預かるサービス。

※3 技能・経験に応じた保育士等の処遇改善
副主任保育士など中堅の役職を設けて処遇改善に取り組む保育園などに対し、キャリアアップの仕組みの構築を支援するもの。

※4 年中児こころの成長アンケート
5歳に達する児童の保護者にアンケート調査を実施し、発達障害の早期発見と支援につなげていくための事業。

総務常任委員会

児童生徒増、学校建設費が増額

一般会計補正予算
認定1件について審査
しました。

一般会計補正予算

問 高校生等通学支援
事業補助金50万円
の増額の内容は。

答 現在37万9千円の
助成額であり、好
評を得て予算が不足す
る予測のため増額した。

問 第三保育園新築事
業の予算で、待機
児童の解消ができるか。

答 定員110人から
140人となり、
対応できると考える。

問 バスターミナル概
略検討業務490
万円の内容は。

答 駒寄スマートIC
の東側で県道から
午王頭川までを新商業
地域とし、高速バス（路

線・貸し切り）ターミ
ナルの発着場を設けた
い。バス会社との協議
も含め、確実な計画に
したい。

問 スクールバス購入
費769万円。何
人乗りで、古いバスの
処理は。

答 29人乗り。老朽化
のため廃車予定。
駒小建物補償費1
千万円の内容は。

答 体育館建設予定地
内の建物補償費の
増額。

問 町民プール解体工
事で994万円減
の理由は。

答 入札による減額。
吉中校舎増築関連
移設工事3985
万円に関連して、プー
ル跡地の計画は。

問 中学校体育館西に
432台分の駐輪
場を予定。プール跡地
は駐車場になる。

答 八幡山グラウンド
仮設広場整備工事
1200万円の計画概
要は。なぜ今緊急の補
正か。

問 給食センター施設
補修計画検討業務
委託料300万円。な
ぜ年度当初に計上しな
かったか。

答 調理委託会社の聞
き取りの結果、必
要性が分かったため。

答 町有地の有効活
用が目的
で、南側駐車
場を削平し、
仮設のバック
ネットとダイ
ヤモンドを作
る。最終的な
グラウンドの
整備に支障の
ないようにし
たい。県内高
校校庭での死
亡事故を受け、
早急な危険防
止を考えた。



駐車場となるプール跡地

産業建設常任委員会

老朽管（石綿管）更新工事進む

認定3件、議案3件に
ついて、審査しました。

水道事業会計決算

問 老朽管（石綿管）
更新工事を進めて
いるが、計画に関する
今後の見込みは。

答 本年度も防衛省の
補助事業を活用し、
老朽管の更新工事16
29mを実施した。補
助事業で残り7527
mを更新する。

問 町の1年間の取水
量（水道原水で浄
水する前の水）と配水
量（浄水され配水池か
ら送り出される水量）
は。

答 水源は6カ所で、
取水量の合計は3
19万2603^m。配
水量は306万713
8^m。

公共下水道事業

特別会計決算

公共下水道事業債

問 公共下水道事業債
発行と償還は。

学校給食費・国保税の未納者対策を

議案5件、認定4件、および案件1件について審査しました。

学校給食事業

特別会計決算

問 未納家庭の効果的な収納対策は。

答 口座振替日前に残高確認のメール配信を行っている。今後は、コンビ二収納を検討する。

国民健康保険事業

特別会計決算

問 国民健康保険税収納率は、県内他市町村と比べてどうか。

答 平成28年度では22位であった。

問 上昇傾向にあった特定健診受診率が、平成29年度減少した要因は。

答 被用者保険の加入者増で、国保加入者が減少。フリーランスや、農業従事者などの自営業者が、忙しさを理由に、受診しなかったためではないかと考える。

問 特定健診受診率は、県内他市町村と比べてどうか。

答 平成28年度では17位であった。

介護保険事業

特別会計決算

問 高齢人口が増える中で、要介護認定者総数が、減少傾向にある要因は。

答 高齢者の筋力トレーニングや、地域サロン活動などの運動で、介護予防が、図られているのではないかと考える。



「元気な方向付け体操」に励む高齢者（老人福祉センター）

後期高齢者医療事業

特別会計決算

問 普通徴収過年度分の徴収率が、極めて低く年々低下傾向にある理由は。

答 納入が困難な高齢者が増えているのも一因と考える。

問 平成29年度31・31%の健康診査実施率はどのように推移しているか。

答 平成28年度31・7%、平成27年度31・4%。

吉岡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 今回の改正のポイントは何か。

答 1つ目は、代替保育に関わる連携施設の要件の緩和、2つ目は、食事の提供の特例に関わる搬入施設の緩和、3つ目は、食事の提供に関する基準の猶予期間を、法施行後5年間を、10年間に延長するもの。

答 下水道整備には多額の資金が必要となる。確実な資金調達を図れ、元利償還金に対して交付税措置されるメリットもある。必要に応じ活用したい。

農業集落排水事業

特別会計決算

問 炭化処理施設の稼働および農業集落排水事業の今後の計画は。

答 今後の稼働は未定。農業集落排水事業

については、公共下水道事業への編入を上野田地区から検討している。

問 上水道と井戸水などを併用する人に対しての、下水道への接続や使用料の負担については。

答 農業集落排水事業区域での接続は無い。公共下水道事業区域では9戸が接続している。使用料については、届出に基づき料金賦課している。



更新が進む老朽石綿管

新教育委員に藤多ゆかりさん

教育委員の高田友美さんが平成30年9月30日で任期満了となりました。

町長から新たに教育委員として、藤多ゆかりさん（漆原・53歳）を任命することに同意

を求められ、議会は全会一致で同意しました。

教育委員は教育委員会の審議の他、学校行事・会議への参加など、さまざまな活動を行います。任期は4年です。



教育委員
藤多ゆかりさん

人権擁護委員候補者に

小林さん・中島さん



人権擁護委員
小林 祐司さん



人権擁護委員
中島 信好さん

人権擁護委員に小林祐司さん（上野田・61歳）、中島信好さん（大久保・67歳）を推薦する町長の諮問に対し、議会は全会一致で適任と認め答申しました。

人権擁護委員は、人権相談や人権思想の啓発活動などを行います。任期は3年です。

委員会発議

発委第1号

「群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書」

委員会審査報告

群大病院では、腹腔鏡手術の医療事故が判明し、特定機能病院の承認を取り消されたが、事故判明以来、診療体制の見直し・安全管理体制の整備などさまざまな改革を進めている。こうした取り組みは、外部委員で構成される病院監査委員会でも高く評価されており、今年5月に厚生労働大臣あて特定機能病院の再承認を行った。

群大病院に、特定機能病院の取り扱いがされないことは、高度医療技術の研究開発や人材育成機能にも支障を来している。については国において早期の再承認を強く要望する。



文教厚生常任委員長
飯島 衛

第3回 定例会賛否一覧

議員名 議案名			結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			賛成	反対	議決結果	富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二
議案	第39号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正…11ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第1号	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定…4・5ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第2号	平成29年度学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第3号	平成29年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第4号	平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	第5号	平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第6号	平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第7号	平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	第8号	平成29年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定	第9号	平成29年度水道事業会計利益の処分及び決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第40号	平成30年度一般会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第41号	平成30年度学校給食事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第42号	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第43号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第44号	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第45号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第46号	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第47号	平成30年度水道事業会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	第2号	教育委員会委員の任命…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第1号	人権擁護委員候補者の推薦…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第2号	人権擁護委員候補者の推薦…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第1号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「—」で表示

一般質問

議員 4 人

町政を問う

9月定例会の一般質問は7日に行われました。
紙面の都合により要約してお伝えします。
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に
備えてある会議録で確認できます。
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した
議案と関係なく、町の行政全般にわたって、
議員個人が執行機関に質問し、
見解を求めるものです。
吉岡町では、質問および答弁を合わせて、
1人60分以内の持ち時間があります。

■五十嵐 善一議員（15ページ）

1. 公文書の保存・管理について
2. マイナンバーカードの普及に向けて
3. 学校に関わる諸問題について

■山畑 祐男議員（16ページ）

1. 男女共同参画事業について
2. 子ども達を取り巻く問題
3. 大型商業施設進出について
4. 防災の取り組み
5. 家庭ごみについて

■飯島 衛議員（17ページ）

1. 子育て支援について
2. 学校給食について
3. 遊具の維持点検管理について
4. 吉岡中北の交差点の課題について

■小池 春雄議員（18ページ）

1. 災害時の避難体制
2. 学校給食の地産地消と食の安全



インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





いがらし よしかず
五十嵐 善一 議員

「公文書管理 条例」制定の 考えは

答 近隣市町村の 動向などを 踏まえ、検討

- 問** 「公文書管理条例」制定の考えは。
- 答** 町長 今後、近隣市町村の動向などを踏まえて検討したい。
- 問** 文書の整理・保存などの実質的作業主体は。
- 答** 町長 各課の文書取扱主任を中心に、各職員が実施。
- 問** 保存書庫における公文書の占有率は。
- 答** 総務政策課長 ほぼ100%である。
- 問** 文書取扱主任に対する研修の現状は。
- 答** 総務政策課長 新規採用時に、文書管理全般の教養を実施。その後は、取扱主任へ、

校内テレビ放送システム導入の現状は

- 問** 毎年4月に1回実施。文書管理システムの運用実態は。
- 答** 総務政策課長 今後、先進自治体の実施例などを参考に、町に合うものを研究。
- 問** 町のマイナンバーカード交付率は。
- 答** 町長 平成30年7月1日現在で、6.2%である。
- 問** 普及が低迷している要因は。
- 答** 町民生活課長 個人情報^{（あきづい）}の漏洩^{（ろうえい）}、不正利用による財産的被害など、本制度に対する誤解が少なからずあるものと考ええる。
- 問** 取得促進キャンペーンの取り組み状況は。
- 答** 町長 現時点では未実施。今後、業務体制の見直しや先進的な事例を参考に、実施していく考え。
- 問** ※マイナポータル活用^{（きよう）}の考えは。
- 答** 総務政策課長 現時点での導入は、コスト面で困難。平成31年9月更新予定の、県電子申請システム導入に向け、検討中。
- 問** 駒寄小については、本年度内に導入予定
- 答** 校内テレビ放送システムの導入の現状は。
- 問** 教育長 明治小と吉岡中は導入済み。未導入の駒寄小は、本年度内の整備を目指す。
- 問** 教室内設置テレビの更新計画は。
- 答** 教育委員会事務局 長 個別修理などで対応し、計画的更新



ほうらく
大地震などで崩落の危険性をはらんだ、
高い石垣沿いの通学路

ミニ解説

※マイナポータル
マイナンバーカードを活用して行う、政府運営のオンラインサービス。

- 問** は考えていない。
- 問** 体育館へのエアコン設置の考えは。
- 答** 教育委員会事務局 長 膨大な費用と維持費による、町財政への影響などを考え、早急な対応は困難。
- 問** 通学路の安全確保への対応策は。
- 答** 産業建設課長 職員による巡視確認
- 問** 地域学を学ぶ出前授業の導入を。
- 答** 教育委員会事務局 長 出前授業の一環で、地域を学ぶ場として、吉岡町文化センターの有効活用も検討。



やまはた すけお
山畑 祐男 議員

学校の男女 混合名簿の 導入は

問

無意識の中に男女の差別を意識させているものは、男女別の名簿。混合名簿は、県内の8割近い小学校が採用している。町での導入は。

答

教育委員会事務局 長 町が初めて示す男女共同参画に関する町の方向性を確認した上で対応したい。導

十分な準備期間 が必要

問

入となると十分な準備期間が必要。
男女共同参画計画策定のための推進協議会の活動は。

答

町長 誰もが等しく社会の利益を享受することができ、社会に対して共に責任を担うべき社会となるよう、協議を進めていく。

中学校の部活動への提言は

適正な運営に関する方針を定めた

問

中学校の部活動に
対して、教育委員会は、どのように提言しようとしているのか。

答

教育委員会事務局 長 本年6月に適正な部活動の運営に関する方針を定め、対応を進めている。

問

中学校部活動の教職員の業務多忙に
対しての対応は。

答

教育委員会事務局 長 多忙解消に向け、本年度よりスクールサポートスタッフ・部活動指導員を配置。また継続してスポーツエキスパート事業による活動の外部コーチの応援を活用。

問

八幡山グラウンドの整備計画と、それによる吉岡中学校庭の

影響は。

答

教育委員会事務局 長 吉岡中学校舎増築、駒寄小体育館建て替えなどがあり、速やかな事業着手は困難。だがグラウンドの南側にソフト部の練習場としても使用可能な仮設広場の整備を考えている。

問

大型商業施設進出について、その規模は。

答

町長 開発面積は13・2haで、ホームセンター・資材館・食品店舗・駐車場。

問

大型商業施設進出に伴う道路網の整備は。

答

産業建設課長 渋滞が懸念される、関係機関との協議も進められている。



吉岡バイパスから大型商業施設建設予定地を望む

問

自然災害に対しての町の対応策は。

答

町長 ハザードマップを作成し全戸に配布予定。防災無線デジタル化事業も進めている。

町民生活課長 県の防災情報システムなどから、災害情報の伝達

あると、マニュアルに沿って災害対策本部を設置し、避難準備情報などの情報を住民に伝達。

しかし一番大切なのは人と人とのつながりであり、隣近所の助け合いが非常に重要と考



いいじま まもる
飯島 衛 議員

就学援助の 入学前支給を

答 前向きに 検討したい

問

教育費の負担を軽減する政策が着実に前進している。新入学児童生徒への学用品などの就学援助は、入学前の支給が良いと思うが。

答

町長 入学前に支給する取り組みが広がっていることは認識していて、町としても前向きに検討を進めたい。

問

子育て支援として、祖父母手帳や子育て応援アプリなどの活用ができないか。

答

健康福祉課長 祖父母手帳は、出版社などから購入可能なので、希望者に配布す

ることは可能だが、子育て応援アプリの導入は考えていない。

問

食物アレルギーの子ども的人数とお弁当持参の子どもの対処は。

答

町長 明治小24人、駒寄小27人、吉岡中17人である。また、給食が全く食べられない子どもからは、当然費用は頂かないが、部分的にお弁当を持参する子どもへは費用的な対応は行っていない。

問

食品ロスの対処と食育に、町はどのように取り組んでいるか。

答

教育委員会事務局 長 PTAを対象に、給食の試食会や給食時間に食育指導など行っている。成果として、給食の残量が減少するなど効果がでている。

また、子どもたちはジャガイモ、トウモロコシなどの栽培体験や

田植え、収穫作業などを農家の人と行っていて、食育活動につながると考えている。

問

自治会にある遊具の維持点検管理はどうなっているか。

答

町長 自治会にある遊具13カ所の点検管理は、町で年1回実施していて、遊具の整備などは町の集落施設等整備事業の補助金で整備の対象になっている。

吉岡中北の交差点に照明設置を

答 県と連携したい

問

吉岡中北の変則的な五差路の交差点に、秋・冬、夜間と、照明が必要と思うが。また、スクランブル交差点は可能か。

答

町長 町としても、県と連携をしていきたい。スクランブル交差点にはならないと思う。

問

信号待ちのための待機場所を広く確保できないか。

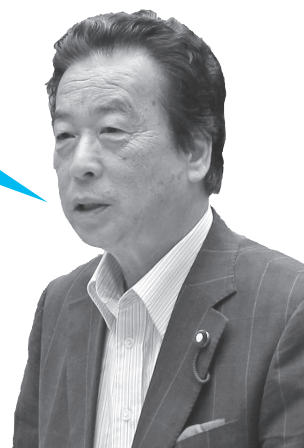
答

町長 県から歩道の設置の話があり、町でも努力したい。



対策が待たれる五差路

災害時要援護者 避難計画の 見直しを



こいけ はるお
小池 春雄 議員

答 避難支援体制 の整備中



これからも継続が望まれる町全体の防災訓練

問 今年の西日本の豪雨による犠牲者の大半が高齢者、被害を受けた市町村の要援護者避難計画がうまく機能しなかった。町の同計画の見直しを。

答 町長 平成28年に古岡町災害時避難行動要支援者避難支援

プランを作成し、要支援者が災害時に迅速な避難ができるよう、整備を図っている。

町民生活課長 要支援者名簿登録者を防災情報などに基づき、早い段階で避難行動ができるように、避難支援体制を整えている。

問 要支援者避難支援プランを、より実効性のあるものにするには。

答 町長 町も全体的な防災訓練を初めて実施。結果、全自治会が防災について認識してくれたと思う。訓練が一番大事と考えて

問 町には災害時避難所が37カ所あるが、不適当な所もある。安心できる場所の選定を。

答 町民生活課長 自治会の施設の耐震性を確認し、見直しを考える。

問 安心な学校給食確保に町独自の検査を。

答 教育委員会事務局 独自の検査はしていないが、国内流通の食品中の農薬については、国監視指導計画などで検査。県では食品安全センターで、残留農薬検査を計画的に実施。

答 補助金制度は考えていない

学校給食、地産地消に補助金を

問 学校給食での地産地消、補助金を出して推進すべきと考えるが。

答 町長 地産地消については、出荷組合と連携をするが、補助金制度は考えてはいない。

問 学校給食での残留農薬検査の実施状況は。

答 教育委員会事務局 長 給食センター

答 教育委員会事務局 長 メリットは調理解体制の強化・衛生管理体制の向上・事務負担の軽減などで、食の安全安心が充実した。デメリットは業務委託で負担金、補助金および交付金などが減少したものの、それ以上に業務委託が増加している。

問 給食センターの民間委託が3年経過したが、メリット・デメリットは。

答 教育長 必要であれば検討したい。

第1回臨時会

防災無線デジタル化第2段階へ

8月3日に第1回臨時会を行い、議案2件が提案され、原案どおり可決しました。

防災無線デジタル化設置工事請負契約の締結

○契約の目的

防災行政無線デジタル化設置工事

○契約の方法

指名競争入札による契約

○契約の金額

9482万円

○契約の相手方

藤田エンジニアリング株式会社

代表取締役社長

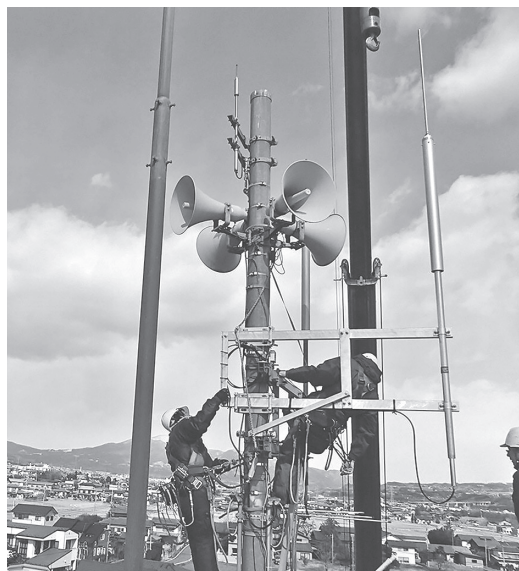
藤田 実

工事概要

今回は、子局設備20局・戸別受信機250台を設置するもの。

全体計画としては、

親局設備・子局設備21局・移動系無線設備30台・戸別受信機5125台で、完成は平成33年度予定。残るは、移動系無線設備30台・戸別受信機4875台。今回の工事で25%実施。



デジタル化への更新が進む防災無線システム（役場庁舎）

第1回臨時会賛否一覽

議員名 議案名および内容			結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			賛成	反対	議決結果	富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二
議案	第37号	平成30年度防災行政無線放送施設デジタル化設置工事請負契約の締結…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第38号	税条例の一部改正…法の一部改正に伴い、固定資産税の課税標準に係る特例率を定める必要があるため	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「—」で表示



視察研修 レポート



総務常任委員会

栃木県

公共交通デマンドタクシーを学ぶ

7月2日3日、栃木県茂木町と芳賀町で公共交通デマンドタクシーの運行状況の視察研修を行いました。

茂木町は、平日と土曜に運行。運休は日曜、祝日、お盆、年末年始。運賃は大人300円子ども150円です。

芳賀町は、平日、土曜、祝日に運行。日曜、年末年始は運休。大人200円子ども100円。両町とも、事前に予約センターか町の担当課に登録し、予約センターに連絡して町内と町外2施設を、芳賀町は車3台と茂木町は4台で運行しています。また、70代80代の女性による医療機関と商業施設へ



デマンドタクシーの運用状況を学ぶ（芳賀町）

の利用が大部分で、両町ともエリアを定めて定期便で運行しており、料金も安く、予約センター方式で集約され、利用しやすいとの説明を受けました。

（委員長 岩崎 信幸）

文教厚生常任委員会

茨城県

境町健康づくりプロジェクトを視察して

7月14日15日、茨城県の境町で視察研修を行いました。

境町では、平成29年9月から、健康づくりプロジェクト3事業を実施しています。「健幸マイレージ」は、

18歳以上の健康づくりを応援し、町の健診など目標を決めて取り組むとマイルが貯まり、健康食品などと交換できます。

「葉酸サプリメントプロジェクト」は、認知症予防に効果がある葉酸サプリメントを65歳以上、千人に1年分配布するものです。「メタボ脱出減量プロジェクト」は、20歳以上でBMIが25以上の人が対象で、3カ月間減量に

取り組むもので、町民に大変好評とのことでした。

（委員長 飯島 衛）



町長より「健幸づくりプロジェクト」の説明を聞く（境町）

「ディスカバー農山漁村の宝」の法人に学ぶ

7月23日、福島県泉崎村の社会福祉法人こころんで、農業と福祉が連携して互いの問題を解決し、新しい事業や地域コミュニティを創出する取り組みを視察しました。

障害者の社会参加や

就業支援のために、耕作放棄地を再生利用し、無農薬、無化学肥料での農産物の栽培・加工や、直売所販売と移動販売などを行っていました。懸命に働く障害者の姿が、心に強く残る視察でした。

7月24日、宮城県仙台市の一般社団法人リルートで、被災農家の野菜販売・地元企業と連携したレトルトカレーの商品化などの取り組みを視察しました。
東日本大震災で始まった大学生主体のボラ



農福連携事業に取り組む「こころん」で移動販売の説明を受ける

ンティア活動を現在も継続し、復旧から復興に向け、地域再生活動に取り組んでいる姿に衝撃を受けました。

(委員長 小池 春雄)

飯綱町議会に学ぶ

8月6日、長野県飯綱町議会で議会改革への取り組みについて視察研修を行いました。

長野市に隣接し平

成の大合併で誕生した人口1万1600人、農業が基幹産業の町です。合併により議員の意識改革が始まり今日までさまざまな改革を行ってきたとのことでした。

飯綱町議会では1期目議員への学習会の実施を始め、議会改革の内容を町民に宣言し、目標達成に向け取り組んできたとのことでした。議会改革で一番大切な改革は、議員それぞれの意識改革が重要とのことでした。議員それぞれの意識改



議長から議会改革のポイントを学ぶ（飯綱町）

革は、大きな課題であると痛感した視察研修でした。

(委員長 山畑 祐男)

町の散歩道

103

週末のめざめ

大井 俊一さん（北下）



週末、朝明るい笑い声で目を覚まします。薄暗い中、今日一日の楽しいスケジュール

に弾む声が役場南駐車場に響きます。年配グループ、熟年選手、スポ少選手にコーチと父兄、中学選手に先生と父兄、音楽コンクールの生徒、ツアーバス待ちの人。

と先生コーチ。土産話に、尽きぬ声が弾きまです。子どもの頃人口九千人、今は二万人を超え、大勢のすばらしい人格知識経験の持ち主が増え、仲間とやりたいことができる子どもたち。素晴らしい街、吉

岡です。ただ、まだ欲しい物があります。文化センターエントランスに自由に弾けるピアノと、同東側広場・ウオーキングコースなどが自由展示スペースになれば、街に文化が薫ります。



議会を傍聴して



原田 正巳さん（陣場）

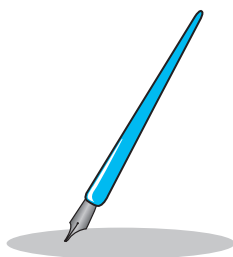
初めての議会傍聴

議会議場に行くのは、初めての経験です。傍聴席に腰をおろし議場内を見渡す。一般質

問が始まり、生活に密着した身近な問題から、災害時、安全な避難場所の確保、町民の命をどう守るか、食品ロスほか、質問は多岐にわたる。白熱した議論が続くなか、私も傍聴席から議論に参加している気分になる。議会を傍聴して色々な難

問が山積していることを、改めて知りました。台風、地震が多発し、また大型化しています。ぜひ防災に関する議論はかさねてお願いします。少し疲れましたが良い経験になりました。

またの傍聴をお待ちしています



私もひとこと

周囲の方に何うと、元気で長生きなら良いが、寝たきりで長生きしたくないと話すが多いのですが、私はワラにしがみついても生きていきたいと思います。残された四十年をどう設計しようか、これからとても楽しみにしています。

これからの人生設計楽しみです



私の百年



中島 信好さん（大久保寺上）

最近知人から、お母さんの百歳祝いであるとお赤飯を頂きました。今年全国で6万7千人が百歳になり、その内八割が女性とのこと。ここでも女性が活躍していたと感心しています。果たして六十七歳の私は、どこまで人生をつなげられるか、期待すること大であります。

よ し お か ク イ ズ No. 121

- 問1 平成29年度一般会計歳出決算額は何億円だったでしょう。
A. 72億円 B. 82億円 C. 92億円
- 問2 花と緑のぐんまづくりは約何万人が来場したでしょう。
A. 1万人 B. 3万人 C. 7万人
- 問3 教育委員の任期は何年でしょう。
A. 3年 B. 4年 C. 5年

応募方法

- ・はがきに答えの記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- ・ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

応募先

〒370-3692

吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限 12月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人の方に、図書カードをプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-B、2-B、3-Cでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は12月上旬を予定しています。
会議は9時30分から始まります。
ぜひお越しください。
日程などは広報よしか11月号に掲載されます。
また、町ホームページでもお知らせします。

お便りコーナー

- ・八木原駅と総社駅の間に駅を作ってほしいです。
- ・児童館の建替えをしてほしいです。乳児も遊ぶスペースがあると嬉しいです。
- ・公園を再整備するなら「水遊び」ができる所もつくってほしいです。

<意見>

毎日楽しく読ませていただいています。
これからも地域発展に様々な情報を掲載していただきたいと思います。

表紙の写真

天候不順のため1日順延となった9月28日、雲一つない快晴の秋空の下、八幡山グラウンドで、第51回吉岡中学校体育大会が開催されました。
昼食休憩後の午後の部、2つ目の競技「長縄跳び」に挑戦する吉中生。胃袋の重さもなんのその、クラスの優勝を目指し、軽やかにジャンプし、14人のメンバーがチーム力で勝負する様子をとらえた場面があります。



馬場 敦子さん
(北下)

災害に備えて

私もひとこと

こういった放送などによって、防災意識が高まり、いざという時にしっかり対応できることで被害は少なくなるのではないのでしょうか。

私はこの吉岡町に数
十年住んでいます。最
近よく防災無線を耳に
するようになりました。
地震や火事、台風だけ
でなく、夏には熱中症
予防の放送もあり、外
で活動されている方へ
の注意喚起ができるよ
うになりました。

みんなで防災意識を高めましょう



キラリよしおか古語り⑭



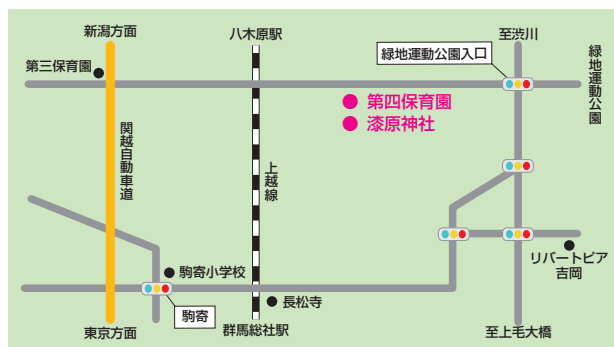
向かって左が本殿 右が社務所



漆原保育園創設記念の碑

漆原小字諏訪の地に鎮座して地元住民の尊崇を受けている鎮守の社・漆原神社は、明治43年4月稲荷神社（茶の木と瀬来）、諏訪神社（西原と新田）、白髭神社（根古屋）、北野神社（天神廻り）、大山祇神社（大町）、神明宮（上野原）の八社が現在地に合祀され、村社漆原神社となって今日に至り、平成22年4月には合祀100周年記念の春季祭典が行われました。これらの八社は亀山天皇（第90代天皇1260～1274）の頃に祭られた神々で、領主（桃井義胤か）の崇敬が厚く、祭典の節には幣帛料を供進したといい、村民は漆の木を植え、漆を採取して領主に差し上げたので、漆原の村名をもらったとも言われています。その後、漆原

漆原神社由来記と 漆原保育園



現在の第四保育園

十二紀の氏神となり同族の崇敬を集め、さらには小字の鎮守神として字民から尊敬を受けてきたが、明治政府の神社合祀令により漆原神社となったものであります。

また神社境内にある「漆原保育園創設記念之碑」は、昭和30年3月開園当初、漆原保育園が漆原神社の社務所を園舎として間借りし、30名前後の園児たちの保育を行っていたことの証であります。

昭和55年度からは、社会福祉法人吉岡会第四保育園として再出発。平成27年11月、境内地北隣に定員200名の立派な2階建て園舎に建て替えられ、今日に至っています。

参考文献：吉岡村誌

編集後記

たわわに実った稲穂が、黄金に色つき、今年も変わる事なく、実りの秋を迎えました。

しかし、日本列島を見渡すと、地震や高温、ゲリラ豪雨や台風などによる甚大な被害が、いたる所で起こり、自然の力に脅威を感じるこの頃です。

9月議会一般質問でも、災害時の対応についての質問がありました。吉岡町も、いつ災害が起こるかわかりません。日頃の家族や近所とのコミュニケーション、そして人と人とのつながりが、いかに大切かと思えます。

議会だよりも、議会と皆様をつなぐものとして、編集に努めているところです。読んでいただき、皆様のご意見をお聞かせください。

(大林 裕子)

編集委員

委員長	金谷 康弘
副委員長	村越 哲夫
委員	高山 武尚
	竹内 憲明
	五十嵐 善一
	大林 裕子
	富岡 大志